

安全安心報誌

安衛委 No111
平成23年2月12日
安全衛生推進委員会

年度末労働災害防止月間

これから迎える年度末は、多くの工事が完工時期を迎えることもあり、労働災害が多発することが危惧されます。このことから三月

一日から三十一日までを「建設業年

度末労働災害防止強調月間」と定

め、この期間中における労働災害

防止活動の一層の推進を図り、年

度末を無事故・無災害で締めくく

り、新年度を迎えるようにしてく

ださい。

特に労働災害のより一層の減少を

図るために、不安全行動による災

害防止対策をして下さい。

○危険予知活動、ヒヤリハット運

動、ひと声かけあい運動、グーパ

ー運動、指差確認運動、近道・省

略行為の禁

止、安全帯

等保護具の

使用の徹底



雪道などでの安全運転

毎年広報で注意を呼びかけていますが、雪道の運転は慣れていないと思いが、雪道で気をつけたいことを掲載しておきます。

○スピードは控えめに

凍結している道路や雪が降り積もっている道路は、非常に滑りやすくなっています。急激なハンドル操作やアクセル操作

急ブレーキは厳禁です。スピードの出し

過ぎは、カーブを曲がりきれなかったり

交差点で停止できないなど、事故につなが

がってしまいます。

○車間距離は十分に

車間距離が十分でない、前方の車に追

突しやすくなるだけでなく、路面状況の

把握がしづらくなります。

○夜間・早朝に注意

夜間・早朝は冷え込みで路面が凍結しやす

く、昼間に比べて何倍も危険です。

昼間はただの濡れた路面でも気温が下が

ると薄い氷の膜が張ったいわゆるブラッ

クアイスバーンになります。路面に雪が

ないからといって、スピードをだすと、思わぬところでスリップし事故につながるようになります。

○4WDを過信しない

4WD車は四輪で駆動しますから、他の

車よりスムーズに発進できるし、走行中

も他車に比べればはるかに安定していま

す。しかし、ブレ

ーキはどんな車で

も四輪で制動して

います。4WDだ

からといって止ま

りやすいというこ

とではありません。



インフルエンザ予防

日常生活での予防では、体調を整え抵抗力をつけ、ウイルスに感染する機会を減らすことです。

○栄養と休養を十分にとる。

○人混みをさける。

○マスクを着用する。

○適度な温度、湿度を保つ。

○外出後の手洗い、うがいの励行。



各現場での安全対策又はヒヤリ体験談

道路再生工事、公共下水道舗装復旧工事を担当した村上易則さんです。

まずは担当を任されて、施工計画段階で現地視察に行き2点重要ポイントを

つけた。1点目は、一般車両を通行させながら工事をするのに、あまりにも狭すぎる点、2点目は、住宅・商店街・展示場等がかなり隣接し、又軒先が道路までできているような悪条件であった。工事看板も立てる場所もないし、片側規制する幅がない現場なので、次のような工夫を凝らした。

道路幅は変えることができないので、施工時期、時間の工夫、現場を周知させる大型回転灯、体感マツト等で周知させ、警備員や工事指揮者を適正に配置し、セーフティコーンの小さい物を利用などで、狭いエリアをカバーした。住宅街は、区長さんに回覧板をお願いし、尚かつ周辺影響範囲の住宅を軒並み挨拶をして回り、公道を駐車場代わりにしている家庭もあったことから「施工時間」を事細かく毎日報告して苦情対策にも力を入れた甲斐があり、地域住民との信頼関係もでき特に大きな苦情もなく工事を完成させることができた。

このことにより、工事施工する際は現場状況を把握し、会社へのハウレンソウも大事だが、地域とのコミュニケーションが重要なことを改めて痛感しました。

今後は、上司、協力会社、地域の声を聞きその現場にあった安全管理をします。

